

III. 目標

| | 領域1 印象づけ | 領域2 サービス案内 | 領域3 情報活用法指導 |
|-----|--|--|--|
| 目 標 | <p>以下の事項を認識する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館は赤ちゃんからお年寄りまでだれでも使える場 2. 図書館の利用は原則として無料 3. 図書館は生活・学習・研究上の基本的な資料・情報の収集・蓄積・提供機関 4. 図書館は種々のメディアを提供する機関 5. 図書館は気軽・便利・快適で自由な休息と交流の場 6. 図書館は生涯学習を支援する開かれたサービス機関（学ぶ権利の保障） 7. 図書館は物理的な空間というより世界に開かれた「情報の窓」 8. 図書館は個人の知る権利を保障する社会的機関 9. 図書館は資料・情報の受信・発信・交流の場 10. 図書館の種類と特徴 11. 図書館とそのサービスポイントの所在 12. 図書館は地域情報のある場 <p>・ 子どもたちへ ・たくさん本があるところ ・いろいろな本があるところ ・お話し会、人形劇、紙芝居などのあるところ</p> <p>・ 大人たちへ ・図書館は子どもの情緒、感性、想像力を育てる場</p> | <p>以下の事項を理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設・設備の配置 2. 分館、サービスポイントの所在地 3. 検索ツールの配置と利用法 4. 参考図書・ツールの存在と有用性 5. 利用規定（開館時間等） 6. サービスの種類 （貸出、複写、レファレンス、予約、リクエスト、情報検索、相互貸借、アウトリーチ、利用案内、読書案内等） 7. 対象別サービスの存在 （幼児、児童、ヤングアダルト、成人、高齢者、障害者、多文化サービス等） 8. 図書館員による専門的サービスの存在 （調査・研究支援、利用指導、読書案内等） 9. 図書館員による親切丁寧な案内・援助・協力を受けられること 10. 利用マナー 11. 行事の案内 （講演会、展示会、上映会、お話し会、研修会等） 12. 子どもを取り巻く大人（保護者、教師等）へのアドバイス | <p>以下の事項を理解し習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資料の基本タイプと利用法 （図書、雑誌、新聞、参考図書、行政資料、AV資料、CD-ROM、ネットワーク情報資源：インターネット等） 2. 自館資料の組織法と利用法（分類、請求記号等） 3. 検索ツールの存在と利用法 （OPAC、書誌、索引、目録、レファレンス・データベース等） 4. アクセスポイントと使い方 （著者名、タイトル、キーワード、分類記号、件名標目、ディスクリプタ等） 5. サーチエイドの存在と利用法 （分類表、件名標目表、シソーラス、マニュアル等） 6. 情報検索の原理（AND/OR/NOT/トランケーション等） 7. 分野ごとの固有な資料の存在 8. レファレンス・サービスの利用法 9. 他機関資料の利用法 10. ブラウジングの効用 11. 情報探索ストラテジーの立て方（一般的、専門的） 12. コンピュータ等の情報機器の利用法 13. 書誌事項・アクセスポイントの記録法 14. 資料の分類とインデックスの作成法（キーワード、見出し語の付与等） 15. 印刷資料の作成法（パンフレット、リーフレット、ミニコミ紙等） 16. AV資料の作成法（ビデオの撮影、編集法等） 17. コンピュータ・ネットワークによる情報発信 （電子メール、インターネット等） 18. 情報倫理（著作権、プライバシー、公正利用等） |

IV. 方法

| | 領域1 印象づけ | 領域2 サービス案内 | 領域3 情報活用法指導 |
|-----|--|--|--|
| 方 法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ポスター、ステッカー、ちらしなどによる図書館の存在のアピール 2. 地域、行政機関等の広報媒体による図書館紹介・行事案内・資料（新着書等）紹介 （行政広報誌、図書館報、学校新聞、学級新聞、PTA広報誌、ホームページ等） 3. 図書館の位置を知らせるサイン 4. マスメディアによる図書館紹介・ニュース（パブリシティ） 5. 地図・案内図への記載 6. 行事（展示会、講演会、コンサート、お話し会、人形劇、ビデオ上映会等） 7. 学校訪問での図書館紹介（新1年生への利用案内等） 8. 学校の公共図書館見学奨励 9. ブックトーク 10. 児童へのフロアワーク （語りかけ、読み聞かせ、各種キャラクターの活用等） 11. 館内装飾 12. 本の視覚的アピール 13. コンピュータネットワーク（インターネット等）利用 | <ol style="list-style-type: none"> 1. パンフレット、リーフレット （図書館利用の手引き、館報、館内配置図、図書館所在地一覧、サービス別案内、拡大文字・点字・外国語で記された案内等） 2. 案内ビデオ（字幕付、外国語等） 3. 館内サイン（定点、誘導） 4. 障害者用サイン（点字施設表示、音声ガイド、筆談サイン等） 5. 障害者用利用案内（録音テープ等） 6. 紙芝居による図書館案内 7. 利用者別オリエンテーション 8. 図書館招待（幼稚園児、保育園児、児童・生徒、地域のグループ等） 9. 館内ツアー 10. クイックレファレンス（案内デスク、フロアワーク等） 11. コンピュータネットワーク（インターネット等）による図書館サービスの案内 12. ブックリスト、資料目録の配布 13. 教師、保護者への利用案内 14. 一日図書館員プログラム 15. 出張お話し会、ガイダンス | <ol style="list-style-type: none"> 1. 講演・講習・研修会の開催 （特定情報の探し方、インターネットの使い方、特定分野に関するCD-ROMの使い方、コンピュータを利用したプレゼンテーション技法、外部データベース利用のガイダンス等） 2. 独習用ツールの設置 （ビデオ、CD-ROM、ワークブック、テキストブック等） 3. パンフレット、リーフレットの配布 （文献リスト、機器・資料の使い方マニュアル、パスファインダー等） 4. 機器・資料の使い方の掲示 5. 電子掲示板システムの利用 6. コンピュータネットワークを利用したガイダンス（インターネット等） 7. マスメディアを利用したガイダンス（テレビ番組、ラジオ番組、新聞記事等） 8. 情報生産・発信コーナーの設置（ワープロ、コピー機、ビデオ編集機、コンピュータ等） 9. 発表の場の設定（発表会、展示会、展示・掲示コーナー、新聞、投書箱、電子会議等） 10. レファレンスでの個別ガイダンス 11. 図書館を取り巻く団体への講演・講習・研修会実施 （地域文庫、点訳サークル、音訳サークル等） 12. 障害者へのニューメディア紹介と利用ガイダンス （点訳パソコン、音声メディア、字幕付ビデオ等） 13. タイムリーな資料展示（文学賞受賞展示、追悼展示等） 14. 他機関・団体主催の講習・研修会等への出張 |